

作物栽培管理情報

令和8年5月号

大分県中部振興局 生産流通部 地域営農・水田活用班

麦の刈り遅れに注意！

・品質向上のために適期収穫を！

収穫適期の目安は、成熟期から2～4日後です。

穀粒水分の目安は、水分含有量25%以下です。

成熟期以降、二条大麦、裸麦は好天では1日で穀粒水分が3～6%低下します。

小麦で1日2～3%低下します。

収穫適期が短いため注意しましょう。

- 早刈り** → ・ 減収・乾燥費増大・品質低下
- 遅刈り** → ・ 倒伏等による減収
・ 穂発芽等による品質低下



適期に
収穫しないと
損だなあ

成熟期の判断基準

麦種	出穂期からの日数	外観による判断
小麦	45～50日程度	・ 全穂の80%で粒の緑色が消えツメ跡が わずかにつく口ウソクくらいの固さ (水分35%程度)
裸麦	40日程度	
大麦	37～42日程度	・ 穂首部分が黄化する

【出穂期】
全茎の40～50%が
「穂先が少しでも出
た状態」となった日

・収穫時の降雨について

・ 麦は成熟期以降に降雨を受けると、穂発芽・退色・かび等の発生を招きます。

・ 雨が予想される場合は、できる限り降雨前に収穫しましょう。

Q. 収穫はどれくらい前倒しできるのか？

A. 収穫適期の2～3日前が前倒しの限度です。穀粒水分は31～32%です。

・収穫時の注意点

・ 倒伏、穂発芽、赤かび病の発生した圃場は別収穫しましょう。

・ カラスノエンドウ等の雑草は収穫前に手取り除草を行いましょう。

要注意！



カラスノエンドウ

農業情報メール配信の登録募集！

～米・麦・大豆の栽培管理情報をいち早くキャッチしよう！～

★ 登録方法 ★

配信受付（スマート申請システム）

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/nougyouzyouhou>

上記のアドレスまたはQRコードからアクセスし、メールアドレス等の必要事項を入力してください。後日、農業情報をメール配信します。



お問い合わせ先：大分県中部振興局 地域営農・水田活用班 電話097-506-5791

ホームページ：http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html

裏面へ

水稲 苗半作～良い米は苗作りから～

・良い苗の条件

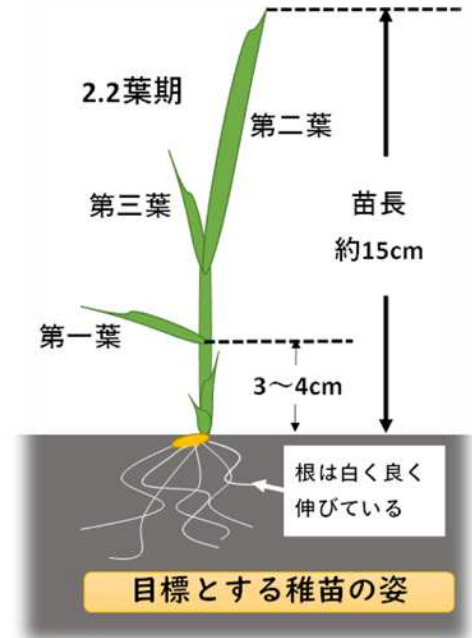
- ① ずんぐりして発根力に優れ活着が良いこと
- ② 生育が揃い病害虫の発生がないこと
- ③ 根量が多く、マット形成がしっかりしていること
- ④ 下葉の枯れ上がりや葉先枯れがないこと

・良い苗作りのポイント

① 塩水選

- ・ 塩水に沈んだ発芽の良い籾を種籾として選別しましょう。
- ・ 選別後は十分水洗いし塩分を取り除いてください。

米の種類	比重	使用量	
		(水20Lあたり)	
		食塩	硫安
うるち	1.13	4.0kg	5.8kg
もち	1.08	2.4kg	3.2kg



② 種子消毒・浸種・催芽

令和7年産の種子は例年より休眠が深い傾向があります。出芽むらのない均一な苗を育成するために以下の点にご注意ください。

- ・ 種子消毒薬液の温度：
休眠打破と消毒効果を高めるため、薬液を約10℃以上に保ってください。
- ・ 浸種時の水温：10℃～15℃に保ってください。
- ・ 催芽温度と播種：
催芽器を使用する場合の温度は29～30℃を厳守してください。
催芽中はこまめに種子の状態を確認し、種子が鳩胸状態になったことを確認して播種してください。

鳩胸状態の籾



【温度管理】

1. 出芽期 (適温30～32℃)

緑化開始まで (幼芽長5～10mm)
高温では出芽不良、病害虫発生
段積み中の高温に注意！
低温では出芽遅延、かび・障害発生

2. 緑化期 (適温22～25℃)

光を当て、葉緑素を作る (苗長3～4cm)

3. 硬化期 (12℃以下にしない)

硬化開始から移植5～6日前までの期間で温度を徐々に下げ外気温に慣れさせる
この期間で目標の葉齢、苗長まで育てる。

【水管理】

灌水は午前と午後の2回が基本！

- ① 午前中 (10時頃) の気温上昇時に
たっぷり灌水
- ② 午後 (13～14時頃) は床土の表面が
乾いていたら灌水
※夕方の灌水はひかえましょう
控えめな灌水を心がけましょう！
過剰な灌水は根張りを悪くし、軟弱で徒長した苗になります。

◎ 「なつほのか」の育苗について 注意！

「なつほのか」は「ヒノヒカリ」に比べて、苗が伸びやすいため、被覆資材を取り除くタイミングには十分注意しましょう。緑化と硬化は「ヒノヒカリ」より1～2日早く開始し、3cm程度で遮光シートを外し屋外に広げましょう。

◎ 紋枯病に注意！

昨年度中部管内で紋枯病が多く見られました。
今年も多発することが考えられるので、スクラム箱粒剤を使用し育苗時から対策を行いましょう。